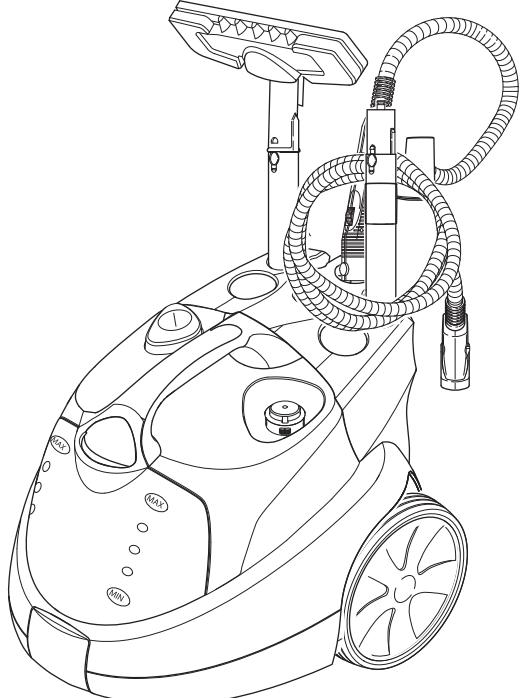




ケルヒャー家庭用スチームクリーナー

SC 1402

取扱説明書



※この商品は業務用ではありません。

※この商品は組み立てが必要です。

※作動テスト後出荷されているため、水分が多少残っている場合がありますが、
製品の性能に問題はありません。

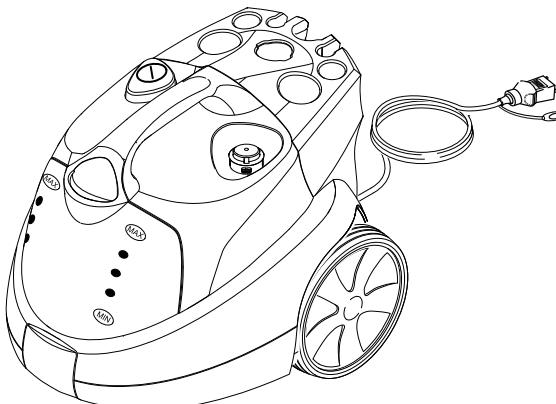
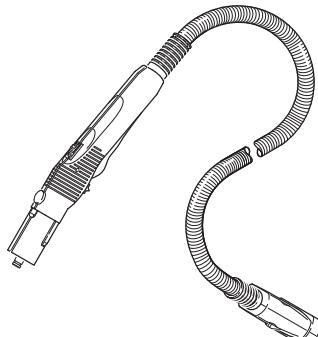
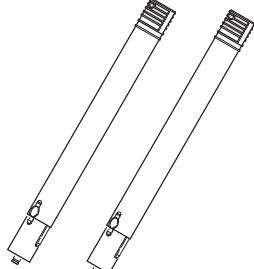
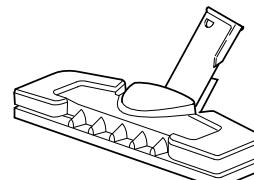
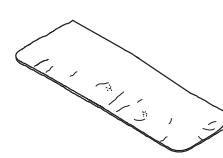
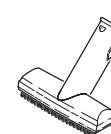
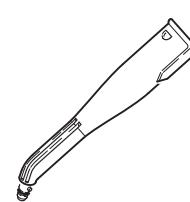
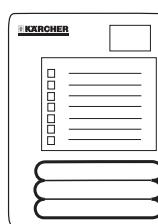
この度は、ケルヒャー商品をお買い上げいただき誠にありがとうございました。ご
使用の前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全にご使用ください。
お読みになられた後は、本書をすぐに取り出せる場所に保管してください。

●もくじ

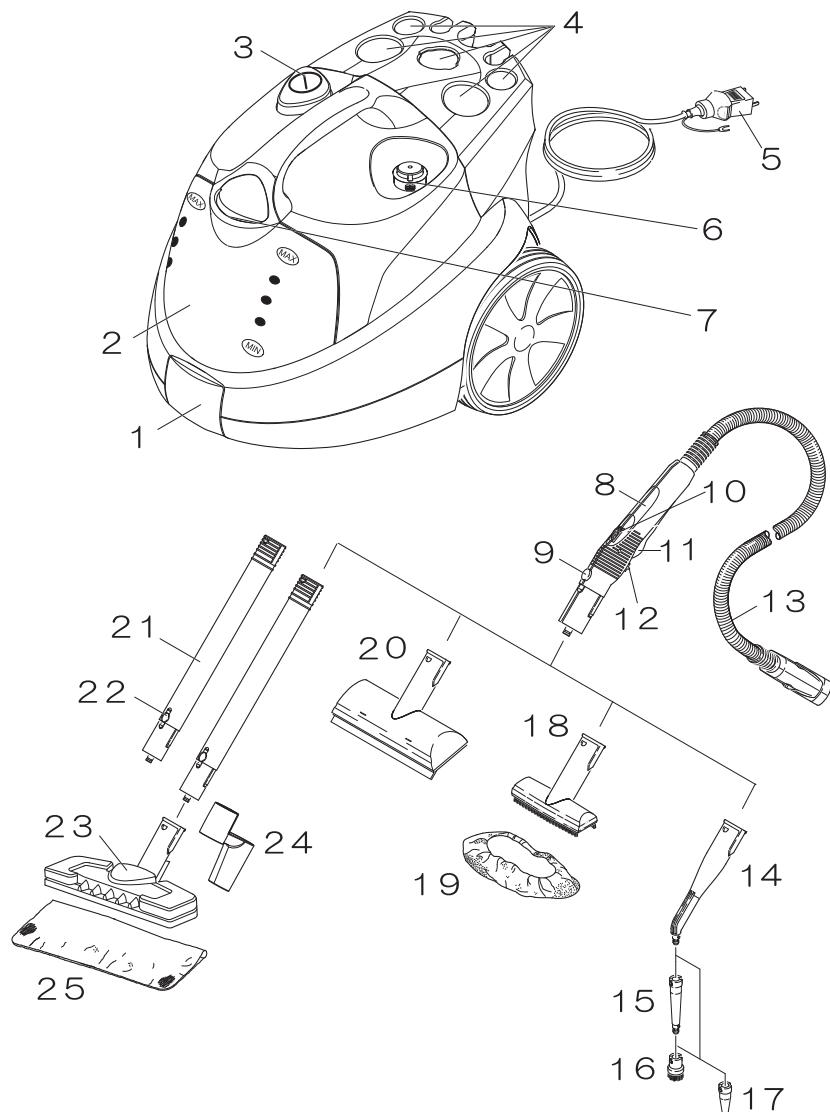
標準装備品	3
各部名称・機能	4～7
簡単マニュアル	8
1. 安全上の注意	9～14
2. 仕様	15
3. ボイラー洗浄剤（スケール除去剤）について	16
4. 使用方法	17～25
1 ホース一体型ヘッドを取り付ける	17
2 給水する	18
3 電源を入れる	19～20
4 操作方法	20～21
5 アクセサリーの使用方法	21～22
＜アクセサリー用途＞	23～24
6 使用中にスチームが出にくくなった場合	25
5. 作業を中断、終了する場合	26～28
1 作業を中断する場合	26
2 作業を終了する場合	26～28
6. お手入れのしかた	29～31
1 本体のお手入れ	29
2 ボイラーのすすぎ（使用5回ごと）	29
3 ボイラー洗浄剤（スケール除去剤）の使用 （使用50回ごと）	30
4 メンテナンスキップとOリング交換	30
5 アクセサリー接続口のOリングについて	31
6 定期点検について	31
7. 保管方法	32
8. 故障かな？と思ったら	33
9. オプション アクセサリー	34～35
10. アフターサービス・保証について	36
保証書	37～38

標準装備品

※本機をご使用いただく前に、全ての付属品がそろっていることをご確認ください。
※仕様変更により商品の形状と図が一致しない場合があります。

本体			ホース一体型ヘッド 1式
延長パイプ 2本			
フロアノズル 1個		クロス 1枚	窓用ノズル 1個
アクセサリーフック 1個			
ハンドブラシ 1個		カバー 1枚	ノズルヘッド 1個
スポットノズル 1個			 RM511 3本 ボイラー洗浄剤 (スケール除去剤)
延長ノズル 1個		ブラシ 3個	

各部名称・機能



- | | |
|----------------|--------------|
| 1 ホース接続口（カバー付） | 14 ノズルヘッド |
| 2 給水タンク | 15 延長ノズル |
| 3 電源スイッチ | 16 ブラシ |
| 4 アクセサリーホルダー | 17 スポットノズル |
| 5 電源プラグ | 18 ハンドブラシ |
| 6 メンテナンスキャップ | 19 カバー |
| 7 給水口 | 20 窓用ノズル |
| 8 ホース一体型ヘッド | 21 延長パイプ |
| 9 アクセサリーロックボタン | 22 ロックボタン |
| 10 スチーム調節ダイヤル | 23 フロアノズル |
| 11 スチームレバー | 24 アクセサリーフック |
| 12 スチームレバーロック | 25 クロス |
| 13 スチームホース | |

本体

給水警告ランプ（赤）

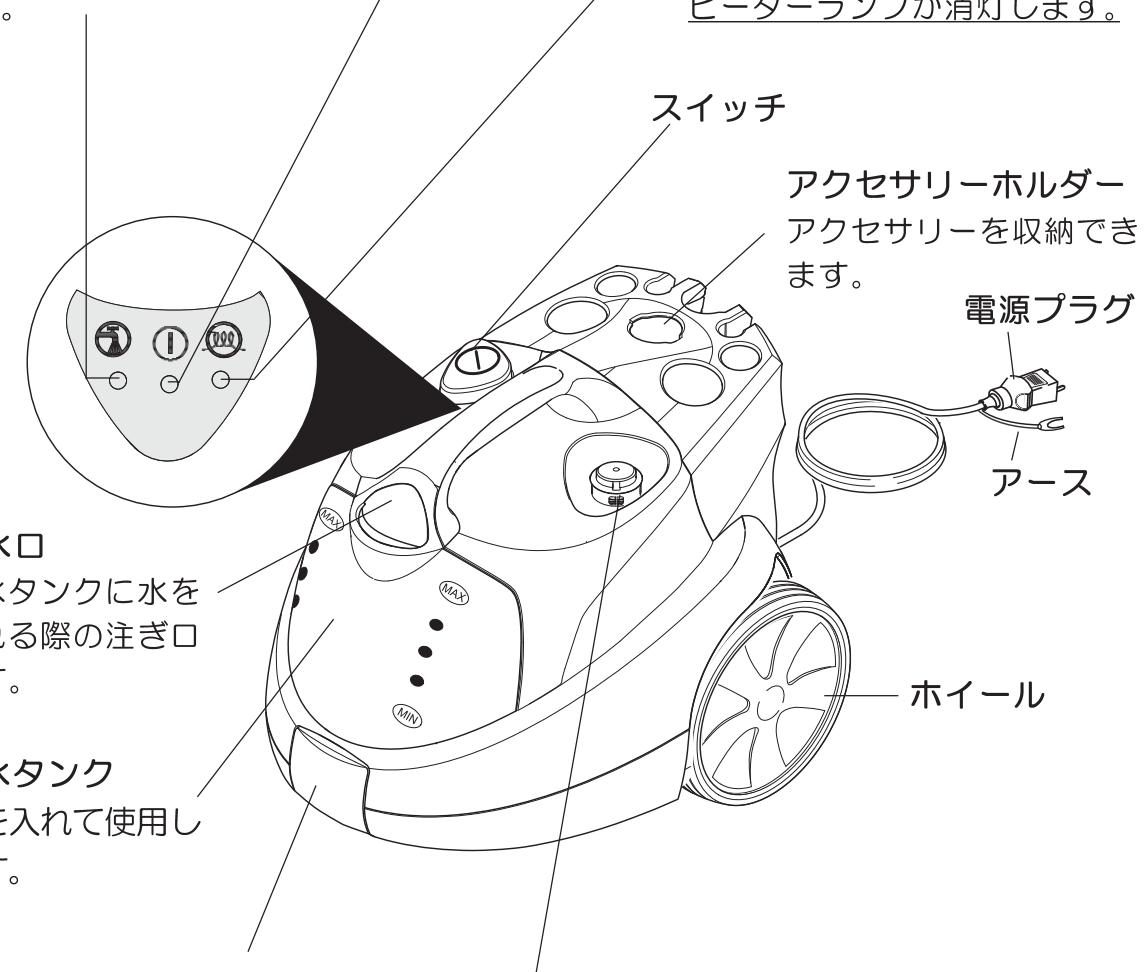
給水タンクの水がなくなると点滅します。点滅時には給水タンクに水を補給してください。
給水しないで使用を続けると、約4分後に強制停止します。

電源ランプ（緑）

電源を入れている間点灯します。

ヒーターランプ（オレンジ）

スイッチを押すと点灯し、加熱が完了すると消灯します。スチーム吐出中はボイラーテンポが下がり、自動的に加熱が始まりヒーターランプが点灯します。
ボイラーテンポが規定値に達するとヒーターランプが消灯します。



ホース接続口（カバー付）
ホース一体型ヘッドを接続します。

メンテナンスキャップ

ヤケドの危険性があるため使用中や停止後まだ本体が熱い場合は手を触れないでください。
また冷却が不十分な状態で開けると、湯が噴き出る場合があります。



注意 アクセサリー接続口のOリングが装着されていない場合には使用しないこと。スチームがもれてヤケドの原因となります。

ホース一体型ヘッド

ヘッド先端にアクセサリーを取り付けて使用します。

アクセサリーを取り付けない状態でもご使用いただけます。

スチーム調節ダイヤル

- 強くする場合 ⇒ ダイヤルを前側に回します
- 弱くする場合 ⇒ 後ろ側に回します

アクセサリーロックボタン
ロックボタンを押すと

アクセサリーの着脱が
できます。

Oリング

スチームホース

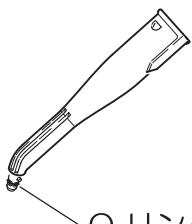
スチームレバー

レバーを握るとスチームが吐
出します。

スチームレバーロック

後方にスライドさせるとロックがかかり、レバーを握れない状態になります。
前方にスライドさせるとロックが解除されます。

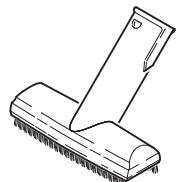
本体接続口



Oリング

ノズルヘッド

先端にブラシを取り付けることができます（ブラシを取り付けない状態でも使用できます）。

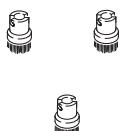


ハンドブラシ

カバーを付けて汚れを拭い取ります。カバーを取り付けない状態でブラシでこすることもできます。

ブラシ

ノズルヘッドに取り付け、
ブラシの毛が広がらない程度の力でご使用ください。



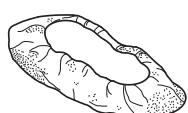
スポットノズル

ノズルヘッドに取り付けて
使用します。



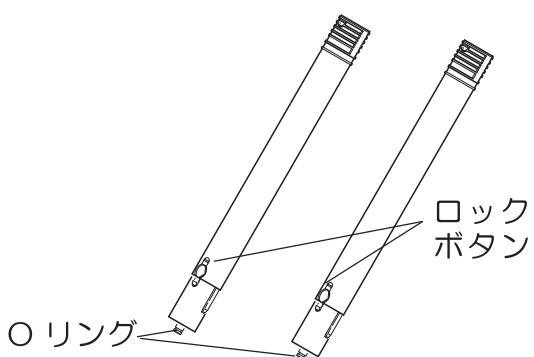
延長ノズル

ノズルヘッドに取り付け、
先端にブラシまたはスポットノズルを取り付けて使用します。



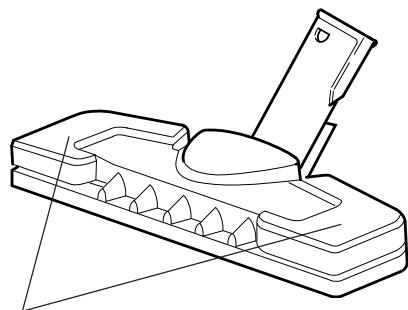
カバー

ハンドブラシに取り付けて使用します。



延長パイプ

フロアノズルを取り付けて床の掃除、あるいは手の届かない場所の掃除にご使用ください。



クロスクリップ

フロアノズル

クロスを取り付け、汚れを拭い取ります。

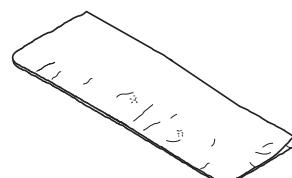
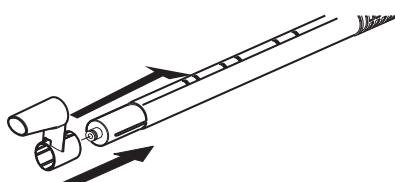


アクセサリーフック

延長パイプに取り付けると、アクセサリーホルダーに掛けることができます。

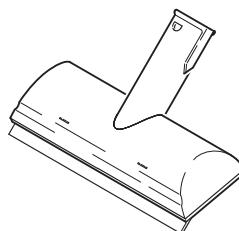
取り付け方法

アクセサリーフックのロックボタンを押し、手前から2番目の溝に取り付けます。ロックボタンを離すと固定されます。



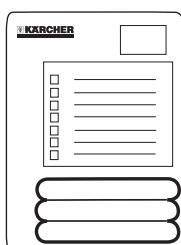
クロス

フロアノズルに取り付けてご使用ください。



窓用ノズル

ノズルを窓から10cm程離してスチームを均一にあてた後、ゴムベラ部を窓に密着させ、水分を拭い取ります。



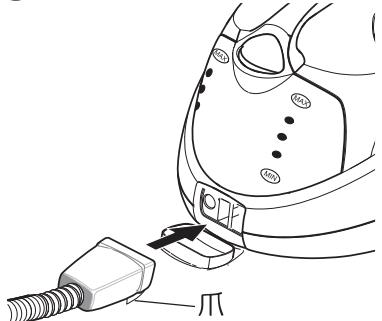
RM 511 3本

ボイラーコード (スケール除去剤)

ボイラーにたまつたスケール (湯あか) を取り除きます。

簡単マニュアル

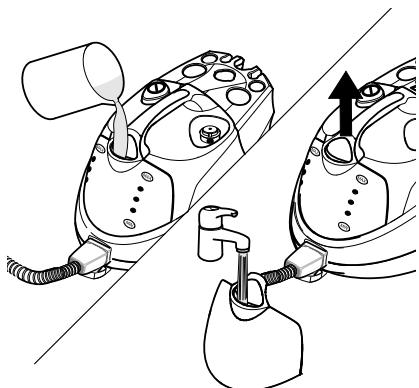
- 1 ホース一体型ヘッドを本体に取り付ける



爪のある面を下向きにし、爪がカバーに掛かるまでしっかりと差し込みます。

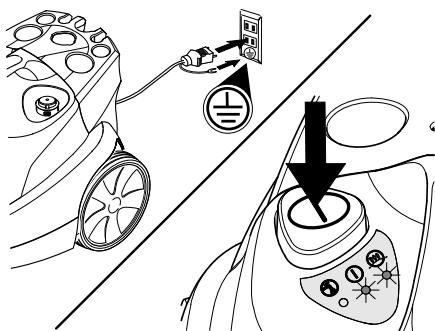
電源を入れる前に必ずホース一体型ヘッドを本体に接続すること。電源を入れると接続しにくくなります。

- 2 給水タンクに給水する

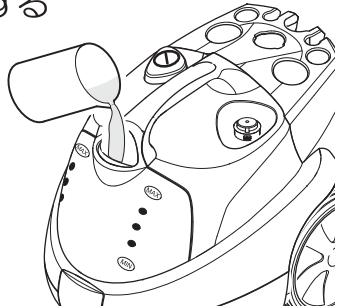


タンクのMAXの印まで(0.95リットル)入れてください。

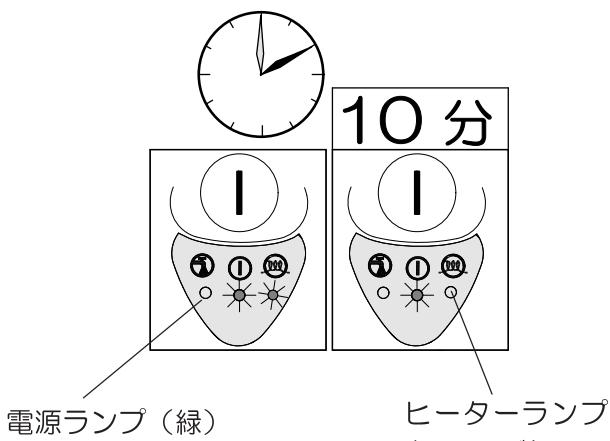
- 3 電源プラグを差し込み、スイッチを入れる



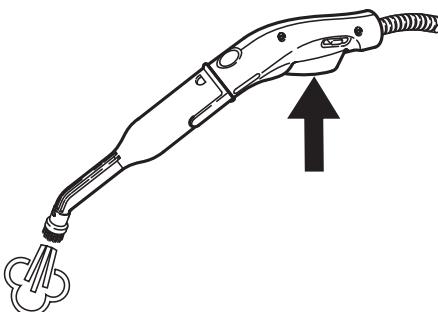
- 4 給水タンクの水が全てボイラーへ供給され、タンクが空になったら再度給水する



- 5 ヒーターランプ(オレンジ)が消灯するまで、約10分間待つ
※ヒーターランプが消えてもスイッチを切らないこと



- 6 用途に応じアクセサリーを接続し、スチームレバーを握り作業を行う



! アクセサリーを接続する際は、必ずスチームレバーをロックした状態で行うこと

1. 安全上の注意

◎ご使用の前に必ずお読みください。

絵表示について

この取扱説明書と製品への表示では、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示で注意事項を説明しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、「死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容」を示しています。



の記号は「してはいけないこと（禁止）」を示します。



の記号は「必ず実行してほしいこと」を示します。



洗浄は自己責任において行うこと

万一洗浄対象物に変色、変形、破損などが生じた場合、もしくは正しく操作をせずにヤケドやケガを負った場合、当社では一切の責任を負いません。

警告



スチームを人体に向けて使用しないこと
ヤケドの原因になります。



子供には触らせないこと
ケガをする恐れがあります。



改造禁止
火災、感電、ケガの原因になります。
ケルヒャー純正部品以外の、機械の性能や機能に適さない部品を取り付けて使用しないでください。



汚染された可能性のある場所を洗浄する場合はマスクなどの適切な防護具を身に着けること
汚染物質が飛散し人体に悪影響を生じる場合があります。



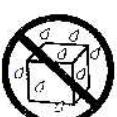
火気のそばに置かないこと
本体が変形し故障や火災につながる恐れがあります。



異音、異臭、過熱時は直ちに使用を中止すること
本体の異常を感じたら直ちに使用を中止し、点検・修理を依頼してください。



ぬれた手で電源プラグを触らないこと
感電する恐れがあります。



本体、電源プラグに水をかけないこと
感電やショートする恐れがあります。



雨天時に屋外で使用したり、水を本体に直接かけたりしないこと
絶縁、劣化により感電やショートの恐れがあります。



修理はケルヒャー ジャパン家庭用修理センターに依頼すること
個人の修理で生じたケガ、事故、不具合に関しては一切の責任を負いません。補修部品の販売はいたしかねます。



スイッチを入れたまま電源プラグを抜かないこと
感電する恐れがあります。



電気に関する警告



電源プラグは確実に差し込むこと

コンセントに接続した際にゆるみ、ガタつきがある場合、製品や電源プラグ、屋内配線の過熱につながり、発火を引き起こす恐れがあります。



電源プラグが変形している場合は使用しないこと

電源プラグが変形していたり、電源プラグの歯が曲がっている場合は、製品や電源プラグ、屋内配線の過熱につながり、発火を引き起こす恐れがあります。



交流 100V 単相電源専用

異種電圧で作動させた場合、火災の恐れがあります。
ラベルに記載された電源でご使用ください。



コードを引っ張らないこと

引き抜くときは先端のプラグを持ってください。
コードが損傷すると、感電やショートを起こし火災を引き起こす恐れがあります。



延長コードは 15 アンペア仕様を使用し、10 m以上延長しないこと

規格以下の延長コードを使用した場合、製品や延長コード、屋内配線の過熱につながり、火災を引き起こす恐れがあります。
15A 以上の規格のものを最長 10 mでご使用ください。



コードリールは完全に伸ばして使用すること

コードリールのコードを巻いたまま使用すると、コードリール、製品や延長コード、屋内配線の過熱につながり、火災を引き起こす恐れがあります。



タコあし配線はしないこと

複数の電気製品（パソコン・電子レンジ・ドライヤーなど）を同じコンセントで使用した場合、電源ケーブル、コンセントや屋内配線の過熱につながり、火災を引き起こす恐れがあります。



警告



メンテナ NS キャップは使用中触らないこと

使用中は絶対にメンテナ NS キャップの上に手を当てたり、覗き込んだり、外したりしないでください。

ボイラーが故障した場合スチームを噴出する場合があります。



メンテナ NS キャップを開ける場合は、十分冷めてから行うこと

メンテナ NS キャップは、本体が人肌以下まで冷却された後開けてください。

熱い状態で開けた場合湯が噴き出し、ヤケドの原因となります。



メンテナ NS キャップの O リングを確認すること

電源を入れる前に確認をしてください。

O リングに亀裂、割れなどがある場合は絶対に使用しないでください。



500 作業時間ごとに定期点検を実施すること

例：1 日に合計 2 時間程度使用する場合

半年を目安に有償点検の実施が必要です。

点検を実施しない場合メンテナ NS キャップからのスチーム吐出、ボイラーの加熱不良、過熱、スチーム吐出不良などのさまざまな不具合が生じ安全作業ができなくなります。また、点検を実施しない場合蒸気が噴出しヤケドをする恐れがあります。点検を依頼してください。



故障時にメンテナ NS キャップが作動することがあります

スチームクリーナーには安全装置としてボイラー圧力が高くなるのを防ぐための圧力逃がし弁がメンテナ NS キャップに組み込まれています。万一の故障時や、定期メンテナ NS 不備によるボイラー内部へのスケール付着などにより、ボイラー内部の圧力が異常に高くなった場合にメンテナ NS キャップの圧力逃がし弁が作動し、蒸気を勢いよく上方に吹き上げます。

絶対にメンテナ NS キャップの上で作業を行ったり、近づいたり、覗き込んだりしないでください。ヤケドの恐れがあります。



作業場所から離れる場合はスイッチを切ること

使用方法を知らない方が操作された場合、ケガをする恐れがあります。



常温水を使用すること

湯を入れた場合、機器が正しく作動せず、ヤケドを負う場合があります。安全上必ず常温水を使用してください。

⚠ 注意



アクセサリーは確実に取り付けること

確実にロックされていない場合スチームがもれ、ヤケドの原因となります。



アクセサリー接続口のOリングが装着されていない、

もしくは損傷している場合には使用しないこと

スチームがもれてヤケドの原因となります。



クロスクリップに指を差し込まないこと

クロス脱落防止のためクリップは鋭くなっています。指を差し込まないでください。



本体を倒したり、立てた状態で使用、または保管したりしないこと

ボイラーが損傷する場合があります。



手袋などの保護具を着用すること

作業時は手などに直接スチームがかかる場合や、汚れがはね返る場合があります。ヤケドやケガの防止のため適切な保護具を身に着けてください。



ガラス製品に傷がある場合は洗浄しないこと

割れる場合があります。

ガラス製品、窓ガラス、鏡の掃除には注意すること

● 2秒以上同じ場所にスチームをあてないでください。

● ワイヤー入りガラス、厚板ガラスの掃除は特にご注意ください。

ガラスの膨張率の違いにより割れる場合があり、ケガをする恐れがあります。



洗浄前に材質を確認すること

洗浄の前に必ず洗浄物の材質をご確認ください。スチームは100°C近い温度で出ます。洗浄部分の材質によっては変色・変形など洗浄物を傷める恐れがあります。目立たない部分で試してください。



レバーロックをかけること

アクセサリーの着脱はレバーをロックした状態で行ってください。ロックされていない場合スチームレバーに誤って触れスチームが噴出しヤケドを負う場合があります。



アースは万が一の故障や落雷の時の感電を防止します

お風呂場や台所などぬれた手で機械に触れる可能性がある場所で使用する場合は出来るだけアースを接続することをお勧めします。

水道管やガス管には接続しないでください。

※水道管への接続はアースの効果がない場合があります。ガス管への接続は引火の恐れが

ありますので絶対に接続しないでください。

アースをコンセントに挿入・接触しないようご注意ください。



給水に関する注意



水以外の液体は使用しないこと

溶剤（シンナーなど）、油（ガソリン、灯油など）、アルカリイオン水、酸性水などを使用しないでください。使用した場合本体が壊れる場合があります。水道水のみで使用してください。



洗剤や薬品を入れないこと

洗剤や薬品を入れた場合、ボイラーの破損、薬品火傷、健康に悪影響を及ぼす場合があります。

水道水のみでご使用ください。



本機は使用50時間ごとにボイラー洗浄（スケール除去）を行うこと

スケール（湯あか）がたまると故障の原因となり、安全弁が作動する場合があります。必ず純正ボイラー洗浄剤（スケール除去剤）を用い定期的にスケールの除去を行ってください。



給水タンクにはいつも水がある状態で使用すること

ボイラーの水がなくなると給水タンクから自動的に給水が行われます。給水タンクの水がなくなった場合、給水警告ランプが点滅し4分後に強制停止します。

必ず給水タンクに水を入れた状態でご使用ください。



給水は必ず給水タンクから行うこと

メンテナンスキャップを開けボイラーに直接水を入れないでください。ボイラーの水が多く入りすぎ準備時間が長くなったり加熱が始まらない場合があります。



蒸留水は使用しないこと

蒸留水を使用した場合、ボイラーのセンサーが作動せず、水があふれる原因となります。



使用後は本体が十分に冷めた後に残留水を捨てること

ボイラー内の水は完全には抜けないため、水が残っている場合があります。本体が十分に冷めた後、メンテナンスキャップを付属の延長パイプで開け、水を捨ててください。



給水タンクにゴミなどの異物が入らないようにすること

給水ポンプが作動不良を生じる場合があります。

2. 仕様

SC 1402		
電源	100 V	50/60 Hz 共用
ヒーター出力	1,500 W	
スチーム吐出圧力	0.35 MPa	(※1)
安全弁作動圧力	0.57 MPa	(※1)
ボイラーアクション温度	139 °C	
ボイラータンク容量	1.6 リットル	(※2)
給水タンク容量	0.95 リットル	
ヒートアップタイム（加熱時間）	約 10 分	(※3)
寸法（長さ × 幅 × 高さ）	420 × 340 × 315 mm	
質量（本体のみ）	6.5 kg	
交換時間	(※4)	(※5)
メンテナンスキャップ用 O リング	約 200 時間	(約 100 回使用)
メンテナンスキャップ	約 500 時間	(約 250 回使用)
圧力スイッチ（内部構成部品）	約 500 時間	(約 250 回使用)
本体寿命	約 1000 時間	(約 500 回使用)
定格使用時間	2 時間	(※6)

※1 1 MPa = 10.2 kg f / cm²

※2 直接給水時の容量

※3 水温 20°C の際の仕様

※4 作業累積時間

※5 1 回の作業で 2 時間使用した場合の回数

※6 定格使用時間 = 電源スイッチが入っているときの合計時間

3. ボイラー洗浄剤（スケール除去剤）について

名称	ボイラー洗浄剤（スケール除去剤）
用途	スチームクリーナーのボイラー洗浄（スケール除去）用
成分	スルファミン酸、マレイン酸、L酒石酸
液性	強酸性
内容量	3本

使用上の注意



警告

- 吸入飲用不可：人体に害があるので飲まない、吸引しないこと
- 皮膚の弱い人はかぶれる恐れがあるので、保護手袋を使用すること
- 子供の手の届かない所に保管すること



注意

- 用途以外には使用しないこと
- 使用方法およびスチームクリーナーの取扱説明書をよく読んで使用すること
- 湿度、凍結を避け、冷暗所に保管すること

応急処置

- 飲み込んだ場合は、口中をすすいで下さい。直ちに医師の診断を受けて下さい。
- 目に入った場合は流水で15分以上目を洗って下さい。症状がある場合は医師の診断を受けて下さい。
- 皮膚に付いた場合は大量の水と石鹼で洗い流して下さい。
- 薬品を吸い込んだ場合は新鮮な空気を吸い、体を休ませて下さい。

保管方法

- 湿度、直射日光や高温、凍結を避けて保管して下さい。

パッケージ

- プラ：カバー、PVC
- 紙：台紙

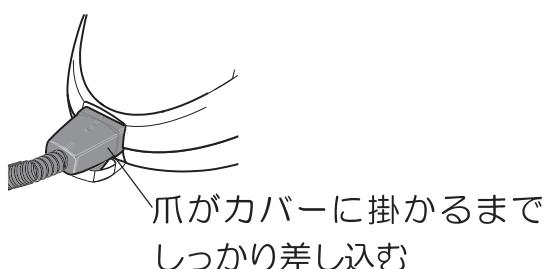
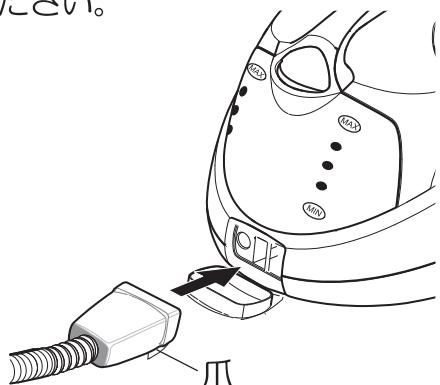
4. 使用方法

1 ホース一体型ヘッドを取り付ける



電源を入れる前に、必ずホース一体型ヘッドを本体に接続すること。先に電源を入れると接続しにくくなります。

- ①本体のホース接続口のカバーを開け、ホース一体型ヘッド接続部の爪のある面を下向きにし、本体に接続してください。



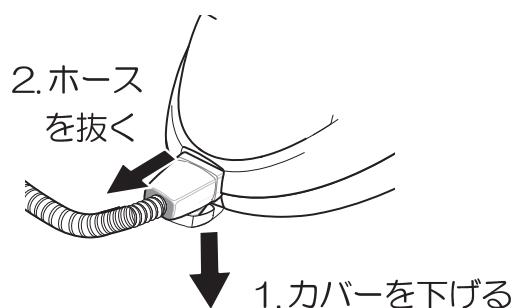
正しい取り付け方

プラグの爪がカバーに掛かるまで差し込みます。爪がカバーに掛かると「カチ」と音がします。

奥までしっかり差し込まないと、スチームレバーを握ってもスチームが出ません。

取り外し方

ホース接続口のカバーを下げるとロックが解除されホースを抜くことができます。



- ②スチームレバーがロックされていることを確認してください。



スチームレバーロックが後方にあることを確認する

使用中にスチームが出なくなった場合スチームホースのプラグが外れていることがあります。以下の手順に従い操作を行ってください。

<手順>

1. いったん電源を切る
2. プラグを抜く
3. 再度プラグを差し込む
4. スイッチを入れる

2 給水する



注意

■常温水を使用すること

湯を入れた場合、正しく作動せず、ヤケドを負う場合があります。

安全上必ず常温水を使用してください。

■水以外の液体は絶対に使用しないこと

溶剤（シンナーなど）、油（ガソリン、灯油など）、アルカリイオン水、酸性水などを使用しないでください。使用した場合本体が壊れる場合があります。水道水のみで使用してください。

■給水作業は必ず給水タンクから行うこと

■メンテナンスキャップのOリングを確認すること

給水ごとに確認をしてください。

Oリングに亀裂、割れなどがある場合は絶対に使用しないでください。

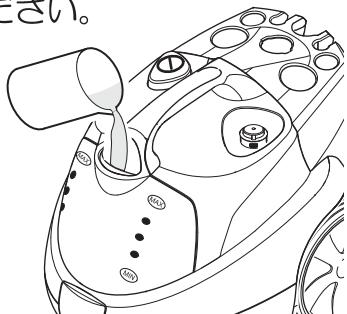
■蒸留水は使用しないこと

ボイラーのセンサーが作動せず、水があふれる原因となります。

●メンテナンスキャップを付属の延長パイプでしっかりと締め付けてください。

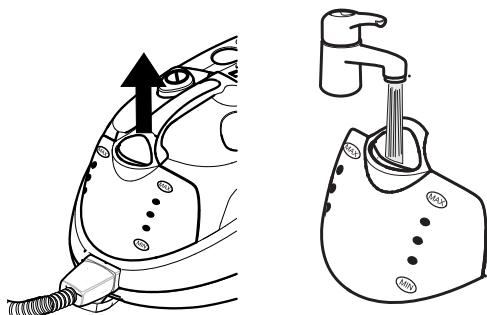
①給水タンクを取り付けたまま水を入れる場合

容器を用意し、給水口からタンクのMAXの印まで（0.95リットル）水を入れてください。



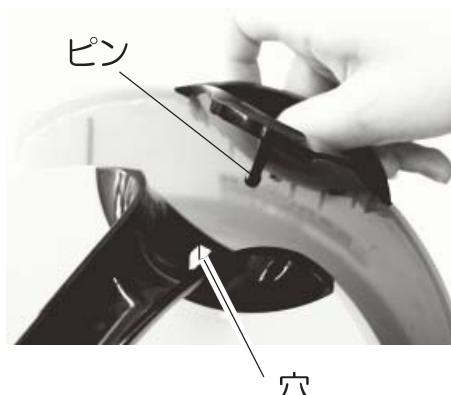
②給水タンクを取り外して水を入れる場合

給水タンクを上に引き上げると取り外せます。



給水口からタンクのMAXの印まで（0.95リットル）水を入れてください。

給水タンクの裏側にあるピンをハンドルの長方形の穴に合わせて取り付けます。



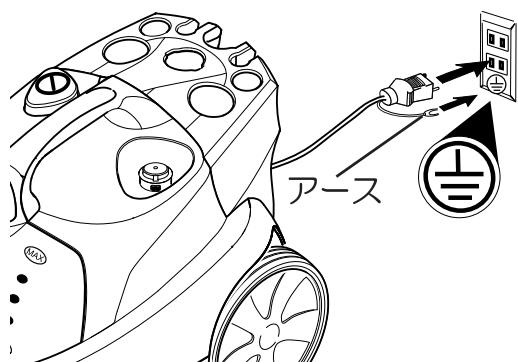
- 電源スイッチをONにしないと水がボイラに給水されません。
- 給水タンクには合計2回の給水が必要です。
- 使用中も給水タンクを外し給水を行うことができます。

3 電源を入れる



電源を入れる前に、本体にホース一体型ヘッドを取り付け、給水タンクに水を入れてください
(18~19ページ参照)。

- ①電源プラグをコンセントに差し込んでください。



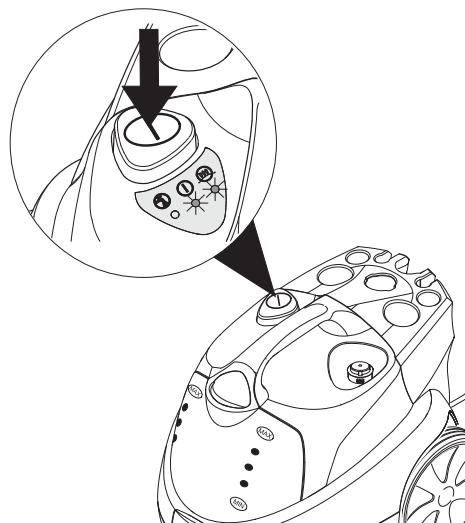
注意

- アースは万が一の故障や落雷の時の感電を防止します

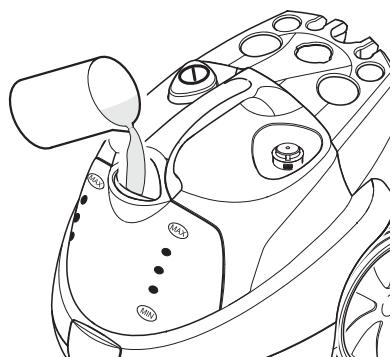
お風呂場や台所などぬれた手で機械に触れる可能性がある場所で使用する場合は出来るだけアースを接続することをお勧めします。水道管やガス管には接続しないでください。

※水道管への接続はアースの効果がない場合があります。ガス管への接続は引火の恐れがありますので絶対に接続しないでください。

- ②スイッチを押し電源を入れてください。
スイッチを押すと、電源ランプ（緑）とヒーターランプ（オレンジ）が点灯します。同時に給水ポンプが作動しボイラへ水が供給されます。
※電源を入れないと給水ポンプは作動しません。

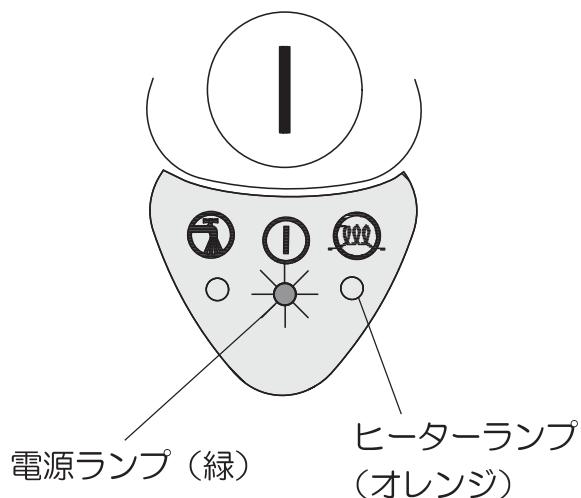


- ③給水タンクの水がボイラへ全て供給され、タンクが空になったら、再度給水します（19ページ参照）。



- 給水タンクが空の状態で使用を続けた場合、約4分後に給水ポンプを守るために強制停止し使用できなくなります。その際は、いったんスイッチを切り、水を入れてからスイッチを入れなおしてください。

- ③ヒーターランプ(オレンジ)が消灯したら(約10分後)、使用を開始することができます。
※加熱時間は水温により異なります。
※ヒーターランプが消えても、スイッチを切らないでください。



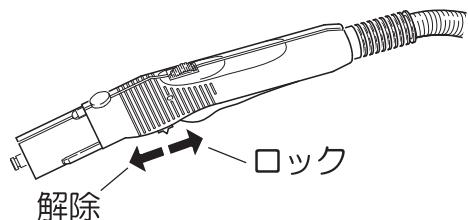
- ヒーターランプは自動でオン⇨オフを繰り返します。

! 注意

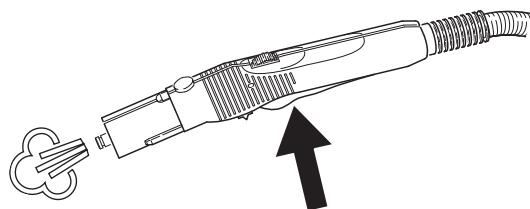
- 使用中、ポンプ保護のためにスイッチが自動的に切れる場合があります。その場合は、給水タンク内の水の有無を確認してください。
<給水タンクに水がない場合>
⇒いったんスイッチを切り、給水タンクに水を入れてからスイッチを入れなおしてください。
<給水タンクに水がある場合>
⇒タンクの差し込みがずれていなか確認してください。ずれている場合はタンクを差し込みなおしてからスイッチを入れてください。

4 操作方法

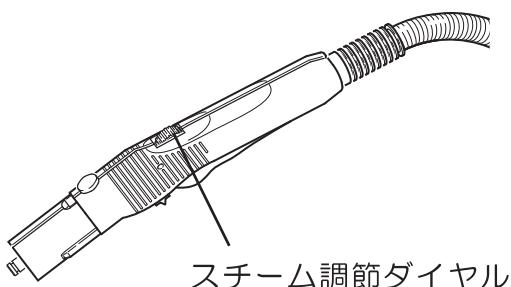
- ①スチームレバーロックを前方にスライドし、ロックを解除します。



- ②スチームレバーを握ると、スチームが出ます。

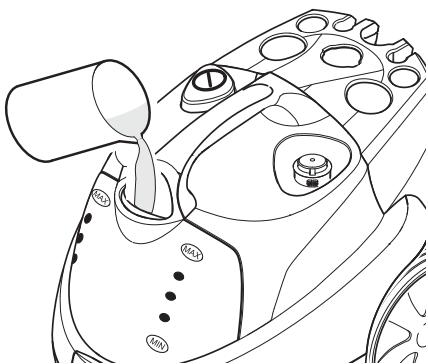


- ③スチーム調節ダイヤルを回すと、スチーム吐出量を調節できます。



- 強くする場合 ⇒ダイヤルを前側に回します
●弱くする場合 ⇒ダイヤルを後ろ側に回します

④使用中給水タンクの水がなくなった場合は、その都度タンクに水を補給してください（19ページ参照）。



! 注意

- 作業を中断した場合（約1分間以上）再び洗浄作業を行う前に、必ず布などに向けてホース内の湯を出し、スチームが出るのを確認してから洗浄を行うこと
作業を中断（約1分間以上）した場合、スチームホース内に湯がたまり、再度使用する際にノズルから噴き出る場合があります。
- 本体を倒したり、立てた状態で使用しないこと
ボイラーが損傷する場合があります。

5 アクセサリーの使用方法

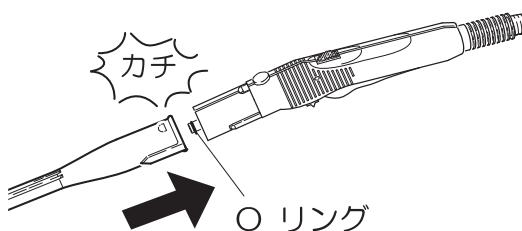
! 注意

- アクセサリー接続口のOリングが装着されていない、もしくは損傷している場合には使用しないこと
スチームがもれてヤケドの原因となります。
- アクセサリーを着脱する際には、必ずスチームレバーをロックすること

- ①ノズルヘッド、ハンドブラシ、延長パイプ、フロアノズル、窓用ノズルの取り付け

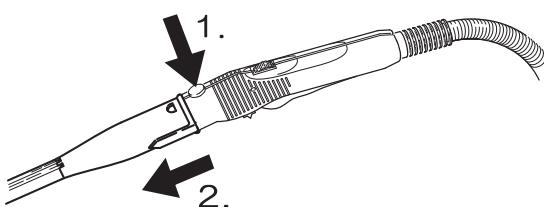
<取り付け方法>

力チと音がするまで差し込みます。取り付けがきつい場合は、接続部分のOリングに水をつけるとスムーズになります。



<取り外し方法>

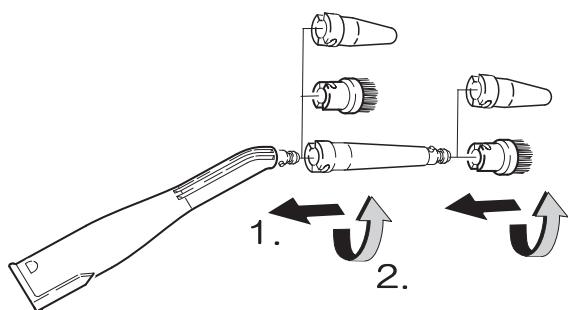
アクセサリーロックボタンを押しながら引き抜きます。



②ノズルヘッドへのアクセサリーの取り付け

<取り付け方法>

ノズルヘッド先端部の爪とアクセサリーの刻みを合わせて差し込み、回して固定します。



<取り外し方法>

アクセサリーを取り付けた方向と逆向きに回し、引き抜いてください。



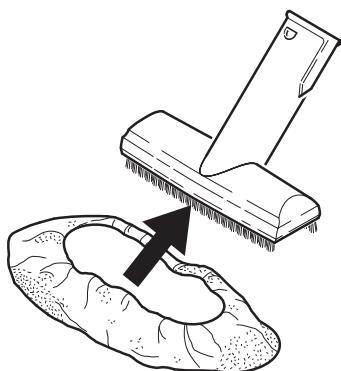
注意

ヤケドに注意すること

アクセサリーが熱くなっている場合があります。

③カバーの取り付け

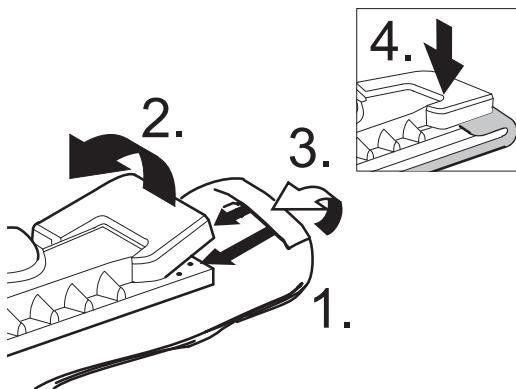
ハンドブラシに被せて使用します。



④クロスの取り付け

<取り付け方法>

1. クロスの上にフロアノズルを置き、端を折り上げます。
2. クロスクリップを上げて開き、固定します。
3. クロスの折った部分をクロスクリップに挟みます。
4. クロスクリップを元に戻します。



<取り外し方法>

クロスクリップを上げて開き、クロスを抜き取ります。



注意

クロスクリップに指を差し込まないように注意すること

クロスクリップの挟み込み部分はクロスが脱落しないように鋭くなっています。

<アクセサリー用途>

用 途	アクセサリー	洗浄のポイント
部分的に掃除したい しみ / カーペットの起毛 (家具の跡をとる)	ノズルヘッドのみ	しみや汚れのすぐ横に布を置き、斜めに(布の方向に)スチームを噴射し、汚れを布に吹き飛ばします。
凸凹のある場所を掃除したい サッシ、レールの汚れ / タイル目地のカビ	ノズルヘッド + ブラシ	ブラシに洗剤を少し付けると、より効果的です。洗浄後、汚れや水分を拭き取ってください。
油汚れを落としたい キッチンの油汚れ / オーブンの汚れ / 換気扇 / エンジンルーム	ノズルヘッド + ブラシ + タオル	初めにタオルで汚れを拭います。力を加えすぎないようにします。スチームを出しながら汚れをこすって浮き上がらせます。洗剤をブラシに付けて洗うと、より効果的です。ブラシにタオルを巻きつけて使用すると、洗浄対象物を傷めません。
広い面を洗浄したい フローリング / 樹脂製の床 / 石材の床 / カーペットタイル	延長パイプ(2本) + フロアノズル + クロス	フロアノズルにクロスを取り付け、汚れをスチームで浮かせてクロスで拭き取ります。 <ヒント> スチームを出し続けると床面がぬれすぎる場合があります。 <u>少ないスチームでも十分な清掃が行えます。</u> スチームは断続的に出してください。 (例) レバーを3秒程度握るとタオルにスチームがたまります。レバーを放して3秒程度掃除します(この手順を繰り返す)。

用 途	アクセサリー	洗浄のポイント
窓や鏡を掃除したい	窓用ノズル	<p>窓用ノズルをガラスから約10 cm離し、スチームを表面に均一にあてます。</p> <p>スチームを止め、窓用ノズルのゴムベラ部をガラスに密着させ、水分を拭い取ります。</p> <p>寒い季節には予備加熱(20cm離した状態で全体を暖める)を行ってください。</p>

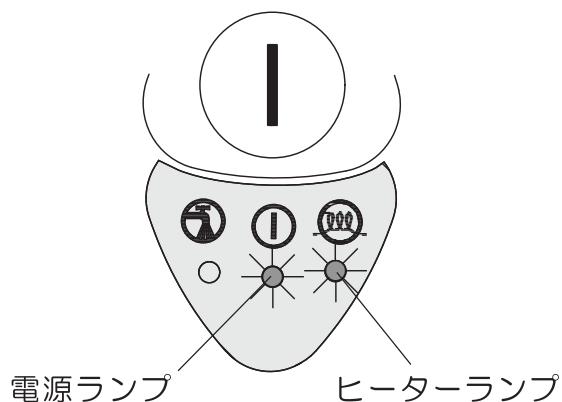


注意

スチームの温度は噴き出し口で約100°Cです。材質や耐熱温度によっては使用できない場合があります。予め目立たないところでお試しください。

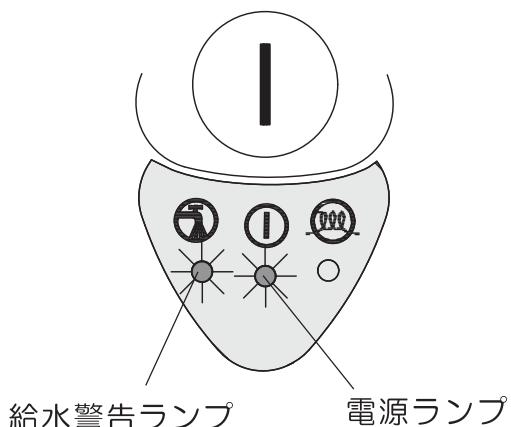
6 使用中にスチームが 出にくくなった場合

- ヒーターランプ（オレンジ）が点灯している場合



連続使用でボイラー温度が下がっています。
電源を入れたまま1～2分作業を中断し、布などに向けてホース内の湯を出した後、使用を再開してください。

- 給水警告ランプ（赤）が点滅している場合



給水タンクの水がなくなりました。
いったんスイッチを切り、給水タンクに水を入れてください。

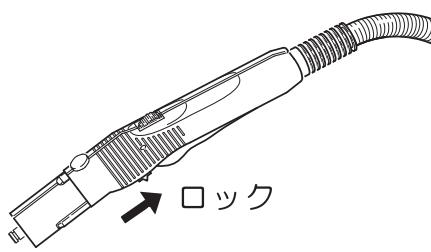
⚠ 注意

本体が冷めてからメンテナンスキャップを開けること
本体が冷める前にメンテナンスキャップを開けると湯が噴き出し、ヤケドを負う恐れがあります。

5. 作業を中断、終了する場合

1 作業を中断する場合

スチームレバーロックを後方にスライドし、ロックしてください。

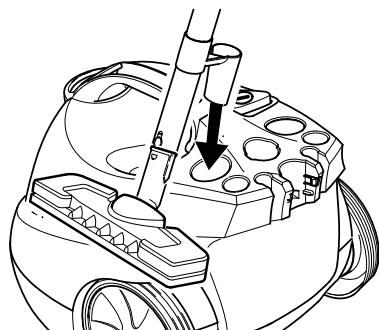


注意

作業を中断した場合（約1分間以上）再び洗浄作業を行う前に、必ず布などに向けてホース内の湯を出し、スチームが出るのを確認してから洗浄を行うこと。

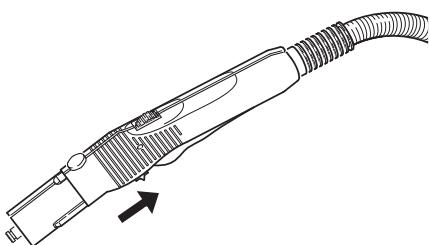
作業を中断（約1分間以上）した場合、スチームホース内に湯がたまり、再度使用する際にノズルから噴き出る場合があります。

作業を中断する際、フロアノズルのアクセサリーフックをアクセサリーホルダーに差し込み、本体に立て掛けることができます。

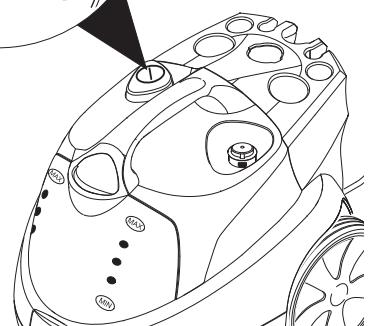
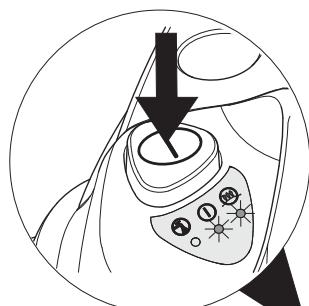


2 作業を終了する場合

①スチームレバーロックを後方にスライドし、ロックしてください。

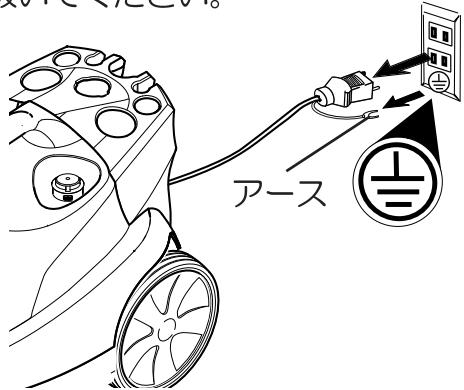


②スイッチを押し、電源を切ってください。

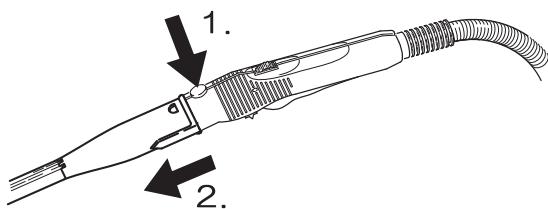


スイッチを切った後、全てのランプが消えていることを確認してください。

③電源プラグを持ち、コンセントから抜いてください。



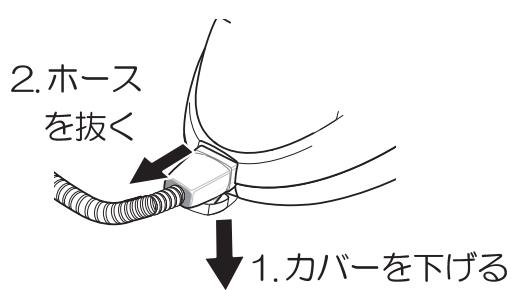
④接続していたアクセサリーを取り外してください。



<取り外し方法>

アクセサリーロックボタンを押しながら引き抜きます。

⑤本体が冷めてからホース一体型ヘッドを取り外してください。



<取り外し方法>

ホース接続口のカバーを下げるヒンジが解除されホースを抜くことができます。

!**注意**

ホース一体型ヘッドは、本体が冷めてから取り外すこと

⑥本体が人肌以下に冷却された後、ボイラーに残った水を捨ててください。ボイラーが冷却されるには、約1~4時間程度かかります(※残水量により異なります)。

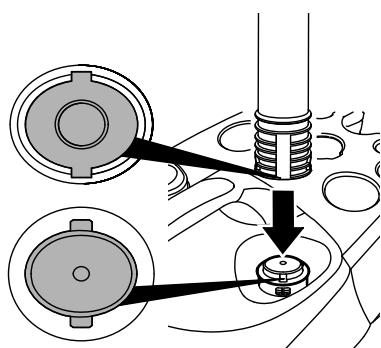
!**注意**

メンテナンスキップは必ず本体が人肌以下に冷却されてから取り外すこと
本体が熱い状態でメンテナンスキップを取り外した場合、蒸気が噴出しやケドを負う恐れがあります。

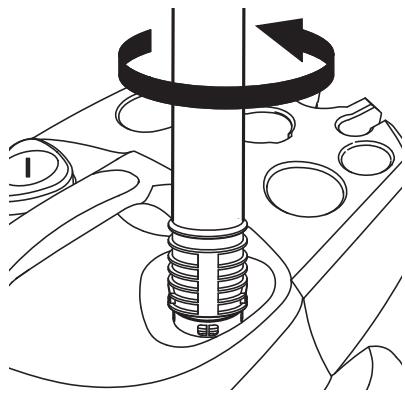
排水方法

メンテナンスキップを付属の延長パイプで開けてください。

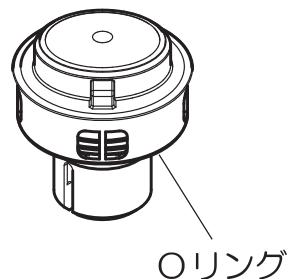
延長パイプとメンテナンスキップの溝を合わせて差し込みます。



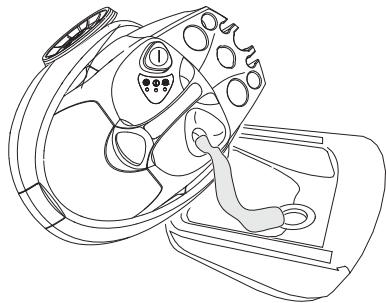
延長パイプを矢印の方向に回してメンテナンスキャップを開けてください。



メンテナンスキャップのOリングは根元の溝に装着されています。Oリングに異常がないことを確認し、しっかり閉めてください。



取っ手を持ってゆっくり機械を傾け、ボイラーに残った水を捨ててください。
※水がこぼれないように注意してください
※本体力バーの端などでケガをしないように十分ご注意ください



ボイラー内に残った水は、使用後毎回捨ててください。

6. お手入れのしかた

⚠ 注意

- お手入れをする場合には必ず機械が冷めた状態で行うこと
- スイッチを切り、電源プラグを取り外した状態で行うこと

1 本体のお手入れ

ぬるま湯か中性洗剤を浸した柔らかい布を固く絞って拭き取ってください。

使用したカバー（ハンドブラシ用）やクロス（フロアノズル用）は、中性洗剤で洗い、乾かしてください。

2 ボイラーのすすぎ (使用5回ごと)

スケール（湯あか）の付着を予防するために、ボイラーをすいでください。

すすぎの目安：使用5回ごと

※硬水を使用の場合は、使用ごとのすすぎが必要です

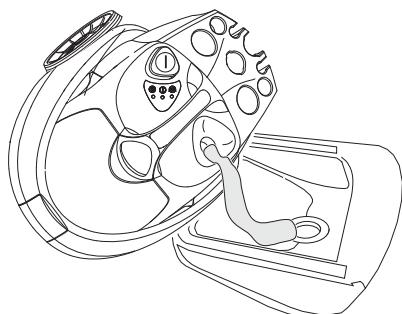
使用を重ねていくとボイラー内部にスケール（湯あか）が付着し、温度が上がりにくくなります。また、スケールの付着は、故障の原因にもなります。定期的なお手入れでスケールの付着を防ぎ、安全にご使用ください。

すすぎ方

- ①スイッチを切って電源プラグをコンセントから抜き、本体を人肌以下に冷やしてください。
- ②メンテナンスキャップを外し、ボイラーに残っている水を全て捨ててください。
- ③ボイラーに水を入れ本体をよく振り、その後水を捨ててください。
この動作を3回繰り返してください。
すすぎが不十分な場合故障の原因となります。

※水がこぼれないように注意してください

※本体力カバーの端などでケガをしないように十分ご注意ください



3 ボイラー洗浄剤（スケール除去剤）の使用（使用50回ごと）

使用50回ごとにボイラーのスケール（湯あか）をボイラー洗浄剤（スケール除去剤）で取り除いてください。ケルヒャー純正ボイラー洗浄剤（スケール除去剤）をご使用ください。

RM 511 ボイラー洗浄剤（スケール除去剤）
注文番号：6.290-239.0

■メンテナ NS キャップのスケール除去はできません。

【ボイラー洗浄剤（スケール除去剤）の使用方法】

- ①ボイラー内をすすいでください。
- ②ボイラー洗浄剤（スケール除去剤）を3本用意してください。
- ③容器に1.6リットルのぬるま湯を用意し、スティックを入れ、溶かしてからボイラーに注いでください。
- ④メンテナ NS キャップを外した状態で約8時間放置してください。
- ⑤8時間後ボイラーの水を捨て、清水で3回以上すすいでください。
すすぎが不十分な場合故障の原因となります。
※水がこぼれないようご注意ください
※本体力バーの端などでケガをしない
ように十分ご注意ください
- ⑥メンテナ NS キャップを閉めてください。
- ⑦室内に保管してください。



4 メンテナ NS キャップとOリング交換

メンテナ NS キャップのOリングは根元の溝に装着されています。
Oリングに異常がないことを確認し
しっかり閉めてください。
Oリングを外した場合は装着部位の溝に戻してください。



メンテナ NS キャップ
(注文番号：4.580-760.0)

作業約250回ごと交換 ※

Oリング

(注文番号：6.363-468.0)

作業約100回ごと交換 ※

※1回の作業で2時間使用した場合



注意

メンテナ NS キャップ、Oリングが損傷するとスチームもれが発生する恐れがあります。規定時間以内でも損傷がある場合は交換してください。

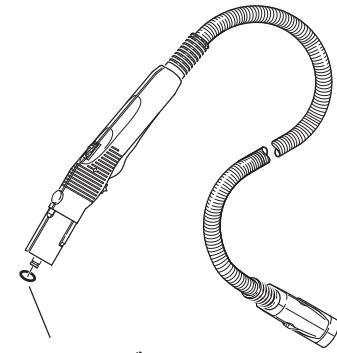
■ご注文は

お買い求めの販売店、あるいはケルヒャー・カスタマーサービスセンター(37ページ参照)までお問い合わせください。

※注文番号は予告なく変更になる場合があります。

5 アクセサリー接続口のOリングについて

アクセサリー（ホース一体型ヘッド・ノズルヘッド・延長パイプ）接続口のOリングが装着されていない、もしくは損傷している場合、新しいOリングを装着してください。



Oリング
(注文番号 : 6.362-922.0)

■ご注文は

お買い求めの販売店、あるいはケルヒャーカスタマーサービスセンターまでお問い合わせください。

※注文番号は予告なく変更になる場合があります。

6 定期点検について



注意

500 作業時間後の点検

約500作業時間*（作業約250回）ごとに有償点検をお受けください。

*作業時間とは、保温状態の累積時間です。

例：1日2時間程度使用する場合は半年を目安に有償点検の実施が必要です（メンテナンスキャップ、圧力スイッチなどの交換）。

点検を実施しない場合安全バルブからのスチーム吐出、ボイラーの加熱不良、過熱、スチーム吐出不良などのさまざまな不具合が生じ安全作業ができなくなります。また、点検を実施しない場合蒸気が噴出しやケドをする恐れがあります。

■ご依頼は

お買い求めの販売店、あるいはケルヒャーカスタマーサービスセンターまでお問い合わせください。



注意

1000 作業時間後の点検

本機の耐用時間（ボイラー寿命）は、約1000作業時間*（1回の作業で2時間使用した場合 作業約500回）です。

*作業時間とは、保温状態の累積時間です。

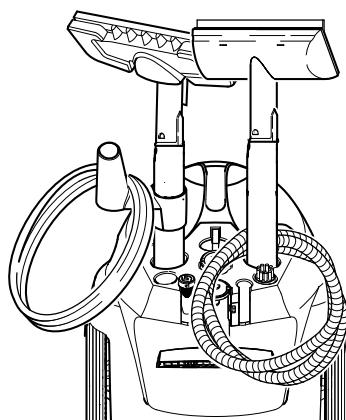
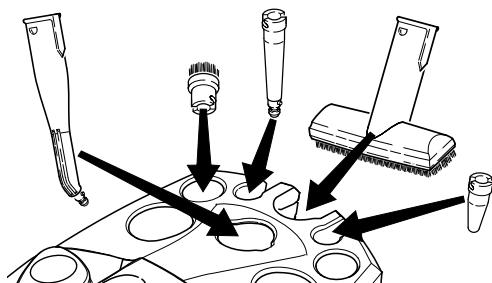
安全に商品をご使用いただくために、作業時間の累積が1000作業時間を超えたときにケルヒャーサービスエンジニアによる点検をお受けください。

■ご依頼は

ケルヒャーカスタマーサービスセンターまでご連絡ください。

7. 保管方法

アクセサリーホルダーにアクセサリーを収納した後、保管してください。



! 注意

- 保管前に必ずお手入れをすること
- タンクの水を抜いた状態で保管をすること
- メンテナンスキャップを閉めた状態で保管をすること
- 屋内のホコリのかからない、凍結しない場所に保管をすること
凍結した場合には、自然解凍をしてください。
- 本体を倒したり、立てた状態で保管しないこと
ボイラーが損傷する場合があります。

8. 故障かな？と思ったら

このようなとき	原 因	対 策
スチームが出ない	電源プラグが抜けている	電源プラグをコンセントに しっかり差し込む
	スイッチが入っていない	スイッチを押し、ヒーター ランプ（オレンジ）の点灯 を確認する
	水が不足している 給水警告ランプ（赤）が点滅 している	いったんスイッチを切り、 給水タンクに水を入れる
	細い延長コードを使用して いる	15A仕様のコードを使用 する（最長10m）
	ホース一体型ヘッドが奥まで 完全に接続されていない	ホースを奥までしっかり差 し込みなおす
スチームが弱くなる	連続使用でボイラー温度が 低下している	1～2分作業を中断しヒー ターランプ（オレンジ）が 消えるまで待つ
スチームが出るまで に時間がかかりすぎ る	ボイラー内にスケール（湯あ か）がこびりついている	ボイラー洗浄（スケール除 去）を行うか、メンテナン スを依頼する
ホース一体型ヘッド を本体に接続できな い	電源が入っている	電源を切った状態で接続 する
	Oリングのすべりがわるい	ホース一体型ヘッド接続部 のOリングに軽く水を塗る
スイッチが切れる	ボイラーが連続稼動している	いったんスイッチを切り、 給水タンクに水を入れてか らスイッチを入れる
	ボイラーの水が不足している	

9. オプション アクセサリー

※仕様変更により商品の形状と図が一致しない場合があります。

※注文番号は予告なしに変更になる場合があります。

オプションアクセサリーは、販売店でお買い求めください

 <p>フロアブラシ 注文番号： 2.884-278.0</p> <p>カーペットやタイルなど床面のお掃除に、クロス（別売）を付けてお掃除します。 JANコード：4039784048041</p>	 <p>ブラシ（真ちゅう製）3個組 注文番号：2.863-075.0</p> <p>ブラシの毛の部分が真ちゅうでできており、こびりつきのひどい汚れを落とします。 JANコード：4002667358063</p>
 <p>マイクロクロス（キッチン用） 注文番号：2.863-172.0</p> <p>フロア用クロス2枚、ステンレス製品用クロス1枚、ハンドブラシ用クロス1枚 JANコード：4039784169869</p>	 <p>スチームターボブラシ 注文番号：2.863-159.0</p> <p>ポイントブラシ先端が小刻みに振動するため、汚れをこする必要がありません。通常のブラシよりも、洗浄時間を50%削減できます。 JANコード：4039784060142</p>
 <p>マイクロクロス（お風呂用） 注文番号：2.863-171.0</p> <p>フロア用クロス2枚、仕上げ用クロス1枚、ハンドブラシ用クロス（研磨素材入）1枚 JANコード：4039784169852</p>	 <p>クロスセット 注文番号：6.960-019.0</p> <p>クロス2枚、カバー3枚 JANコード：4002667012576</p>
 <p>壁紙はがし 注文番号：2.863-062.0</p> <p>糊をスチームの熱で溶かし、壁紙を剥がしやすくなります。 JANコード：4002667017328</p>	 <p>RM 511 ボイラー洗浄剤（スケール除去剤） スティックタイプ（9本入り） 注文番号：6.290-239.0</p> <p>ボイラー内部に付着した湯あかを除去します。 ※使用目安：50回に1回 JANコード：4002667014822</p>

- 補修部品 -

 <p>フロアノズル 注文番号： 2.885-142.0</p> <p>従来品に比べ、汚れ除去率が35%向上しました。 JANコード：4039784401778</p>	 <p>ハンドブラシ 注文番号： 4.130-144.0</p> <p>壁やソファの背もたれなど、壁面のお掃除にカバー（別売）を付けてお掃除します。 JANコード：4002667442717</p>
<p>延長パイプ 注文番号：4.127-023.0 *この注文番号は1本での注文番号です。</p>  <p>1本。長さは50cm。フロアブラシ（別売）などを使用する際、楽な姿勢でお掃除できます。 JANコード：4002667813074</p>	<p>ブラシ3個組（赤2個、黒1個） 注文番号：2.863-077.0</p>  <p>お風呂場、台所、トイレなど色で使い分けできます。 JANコード：4002667358070</p>
<p>窓用ノズル 注文番号：4.130-115.0</p>  <p>スチームをガラスに吹きかけ、上部に付いたスクイジー（ゴムベラ）で汚れを拭い取ります。 JANコード：4002667017311</p>	<p>ノズルセット 注文番号：2.884-282.0</p>  <p>スチームを集中して出すことのできるスポットノズル（赤）と、届き難い場所の掃除の際にノズルを延長するための延長ノズル（黒）のセットです。 JANコード：4039784048089</p>

10. アフターサービス・保証について

1. 保証書が37～38ページに添付されています。大切に保管してください。
2. 保証書の保証内容、保証規定をよくお読みください。
3. 保証書は、お買い上げ販売店で必要事項を記入したものをお受け取りください。
4. 保証期間は保証書に記載されています。
5. 保証期間終了後の修理につきましては弊社ホームページの「修理・アフターサービス」のページ (<http://www.karcher.co.jp/private/support/index.html>) をご覧いただか、販売店もしくは下記ケルヒャーカスタマーサービスセンターまでお問い合わせください。

製品に関するお問合せ

ケルヒャー カスタマーサービスセンター
0120-60-3140

受付日：月曜日～金曜日（祝日、当社休日を除く）
受付時間：午前9時～12時、午後1時～5時

修理品送り先

〒981-3408 宮城県黒川郡大和町松坂平3-2

ケルヒャー ジャパン株式会社
家庭用製品修理センター 宛
(022)-344-3140

※修理品をお送りいただく際には、38ページの保証書
に故障状況をご記入の上、必ず同梱してください。

保証書

お買い上げいただいたケルヒャー商品に万一不具合が生じた場合には、この保証規定に従い補償いたします。

この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

■保証の内容

お買い上げいただきました商品を構成する純正部品に材料または製造上の不具合が起きた場合、ケルヒャー ジャパン株式会社家庭用製品修理センターで無料修理をいたします（この無料修理を保証修理といいます）。

保証修理は部品の交換あるいは補修により行います。

また、取り外した不具合部品は弊社所有といたします。

保証修理を受けられる期間は新品を購入した日から1年間とします。

■保証できない事項

●修理の際の輸送費用

●次に示すものに起因すると判定される故障は、保証修理いたしません。

- ・取扱説明書の指示に反する使用
- ・保守整備の不備または間違い
- ・弊社が提示している仕様の限界を超える使用
(規定以上の長さの延長コードを使用した場合の電圧降下など、業務などで定格使用時間を著しく超えた連続使用など)
- ・弊社が認めていない改造
- ・純正部品および指定する油脂類以外の使用
- ・ご使用者の不注意による故障(凍結、ボイラー内への異物混入、落下による故障など)
- ・業務で使用した場合

●次に示すものは保証修理いたしません。

- ・経年変化により発生した不具合
プラスチックカバーなどの自然退色、電源コード、ホースのひび割れ、Oリングの劣化、部材劣化に伴う性能低下など
- ・使用に際し品質、機能上影響のない感覚的現象(音、振動など)
- ・台風、水害、雪害などの天災による不具合
- ・薬品、塩害などに起因する不具合
- ・水質などに起因する詰まり、劣化

●次に示すものの費用は負担いたしません。

- ・消耗品(油脂、ノズル、安全バルブ、Oリング、パッキン、バルブ、ホース、ブラシ、バット、クロス、およびこれらに類する消耗品)
- ・お買い上げ販売店以外での修理
- ・点検、清掃、調整、および定期点検整備
- ・この保証書に示す条件以外の費用補修など
- ・本機を使用できなかったことによる不便さおよび損失など
(休業損失、商業損失など)
- ・洗浄対象物に損傷、破損、変色などが生じた場合
- ・正しく操作をせずにケガを負った場合

●出張修理はいたしません。

修理はお買い求めいただいた販売店へご依頼ください。

■保証の適用

この保証は日本国内で使用される弊社商品のみに適用いたします。

海外へ持ち出す場合は、その時点で保証が抹消されます。

■保証修理の受け方

保証修理をお受けになる場合は、下記保証書の各項目にご記入いただき、お買い上げいただいた際のレシート／納品書を添付の上、保証修理をおしつけください。

製造番号は、商品の裏側もしくは後部に貼られている銀色のラベルに記載されています。

■保証修理の申し込み方法

ご購入の際に受領されたレシートあるいは納品書と下記保証書を添付の上、お買い上げいただいた販売店にお持ちいただくか、または下記ケルヒャー ジャパン株式会社までお送りください。

ご不明な点がございましたらケルヒャー カスタマーサービスセンターまでご連絡ください。

お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

SC 1402		保証期間：1年	製造番号：
お買い上げ日　： 平成　　年　　月　　日			
お客様	ご住所： お名前：　　電話：(　　)　　—		
販売店	住所： 店名：　　電話：(　　)　　—		
(故障状況)			

ケルヒャー ジャパン株式会社

本 社：宮城県黒川郡大和町松坂平3丁目2番 TEL:(022) 344-3140

東日本営業グループ TEL :(048) 710-8770

西日本営業グループ TEL :(072) 650-1397

九州営業グループ TEL :(092) 934-2828

ケルヒャーホームページアドレス <http://www.karcher.co.jp>